

2025 年 7 月

パールレース参加艇のみなさまへ

パールレース危機管理チーム

事故は日頃からの定期的な点検、交換で未然に防ぐことができます。事故事例としてライフラインの破損による落水事故やバックステー破断によるデismastなど発生していますので、艇体・艀装・備品の点検、整備をお願いします。

<落水事故>

5 月に開催された大島レースで 2 件の落水事故がありました

いずれもライフラインの破損に起因するものでしたが、幸いにも怪我人はいませんでした

1 件はライフラインがスエーピング部から破断したもので昼間 4 名の落水でした。もう 1 件はライフライン固定のシャクルピンが外れたため、昼間 1 名の落水、ピン固定の O リング(G 型)に起因するものでしたどちらも 1 歩間違えば大事故になり得ましたが、適切な対応で無事救助されています。 ※外洋安全委員会 FB より

<デismast>

昨年、一昨年とパールレースでデismastが発生しています。いずれも原因は経年劣化によるバックステーの破断です。劣化が認められる場合は交換をお勧めします。

<個人用遭難信号発信機(PLB)について>

落水時に「個人用遭難信号発信機(PLB)」を使用すると保安庁は遭難信号を受信し、直ちに捜索に出動し迅速な対応が図られます。

しかしながら、昨年パールレースにおいて参加者個人所有の個人用遭難信号発信機(PLB)の誤発信が発生し、巡視艇 2 艇が出動するという事案が発生しました。誤発信であっても保安庁は遭難信号を受信すると直ちに捜索に出動します。保安庁は誤発信であることを確認するまでは「落水者」ありとして行動します。今回のパールレースで PLB を装備される方は、誤発信してしまった場合は、たとえ数秒であっても海上保安庁〔118 番もしくは船舶無機等〕への連絡をお願いします。また、レース本部への報告もお願いします。



PLB は発信ボタンに防止カバーがありますが、カバーの上から大きな力がかかると誤発信されますので注意が必要です。